



WEEKLY REPORT

Rotary 東京立川ロータリークラブ 2019.10.18 第2859回 例会

2019～2020年度 RIテーマ



2019～2020年度
国際ロータリー会長
マーク・ダニエル・
マローニー

ロータリーは
世界をつなぐ

2019～2020年度 クラブテーマ

Restart!

創立60周年 第2ステージの始まり
2019-2020

東京立川ロータリークラブ
会長 長井 守



東京武蔵村山RCの皆様、米山奨学生ポウデル・ラジブ・ロチャン様と一緒に

【会長挨拶】 長井 守 会長

台風19号に伴う記録的な大雨で、東日本を中心に河川の氾濫が同時多発的に発生し、流域は大規模な浸水被害に見舞われました。未だ被災者の救助と復旧を急がなければならない状況であります。気象庁は、今回早い段階から警戒を呼びかけました。これを受け、交通機関の計画運休や顧客や従業員の安全を優先する危機対応が企業に根付つつあるのか、多くの人が事前に食料や防災品を買い求め、不要不急の外出を避けることに繋がり、国民生活への混乱は最小限に抑えられたようです。自然災害の脅威は、いつも人の想像を超えるばかりですが、避難状況を詳細に検証し対策の見直しを強化する事で、早い段階での生活再建の実現に繋がるよう考えていかなければなりません。

今月は「米山月間」です。米山奨学事業は、1952年に日本最初のロータリークラブを創立した実業家 米山梅吉氏の功績を記念して、発足しました。当初は海外から優秀な学生を日本に招き、勉学を支援する事業「米山募金」の構想でした。そこには二度と戦争の悲劇を繰り返さない為に、国際親善と世界平和に寄与したいという、当時のロータリアン達の強い願いもあったようです。その後、日本のロータリー独自の他地区合同奉仕活動へと発展し、1967年に勉学・研究を志して日本に在留している外国人留学生に対し、日本全国のロータリアンの寄付金を財源として奨学金を支給・支援する民間の奨学団体として、(財)ロータリー米山記念奨学会が設立されました。将来、母国と日本との懸け橋となって国際社会で活躍する優秀(学業に対する熱意や優秀性は勿論の事、異文化理解、コミュニケーション能力への意欲や能力に優れている)な、留学生を奨学する事を目的としています。また、事業規模、採用数とも、日本国内では民間最大です。特色として奨学金による経済的な支援だけでなく、ロータリークラブ独自の世話クラブとカウンセラー制度による心の通った支援があります。

ロータリー米山奨学生はロータリークラブを通して日本の文化、習慣等に触れ、社会参加と社会貢献の意識を育て、将来ロータリーの理想とする国際平和の想像と維持に貢献する人となる事が期待されています。その一例がロータリーの友10月号に掲載されていましたので紹介させていただきます。2017年8月に米山記念奨学会の財団設立50周年を祝い、世界の米山学友が集まって「感謝in熊本」が開催されました。今後も2年に1度、世界各地から米山学友が一堂に会す事を申し合わせ、今年7月27日～28日の2日間、モンゴルの首都ウランバートルに於いて、第2回世界大会「絆inモンゴル」が盛大に開催されました。そのモンゴルの米山学友会の初代会長であり実行委員長も兼務している方がジャンチブ・ガルバドラッハさんで、当クラブが四年前から継続しているモンゴル共和国に国書を送っている新モンゴル学園の理事長です。ジャンチブ・ガルバドラッハさんは米山奨学生の時に抱いた夢を、世話クラブの山形北RCを中心に地元市民らが支援し、2000年にウランバートルに開校した日本式高校は、今や小中高一貫校、子ども園、高専、工科大学を擁する「新モンゴル学園」となり、日本をはじめ世界の国々とモンゴルを繋ぐ懸け橋となる人材育成に貢献しています。

教育は思想の根幹であり、その人の人生を豊かにするものです。特に発展途上国では、自国の恩恵を受けられない若者が多くいる中で、私達大人は、地球規模で「人的投資」をする義務があります。この事業を通じて、将来を担う若者達に、私達が残せる財産として、改めてその役割を認識する次第です。



長井 守 会長

【お客様の紹介】 長井 守 会長

- 嶋田哲男 様 (第2580地区 東京武蔵村山RC 会長)
- 佐藤 貢 様 (第2580地区 東京武蔵村山RC 幹事)
- 田代和也 様 (第2580地区 東京武蔵村山RC 副幹事)
- 相田禎延 様 (第2750地区 米山資金推進委員会 副委員長)
- ポウデル・ラジブ・ロチャン 様 (米山奨学生)



司会進行 保坂正憲 委員



ニコニコ発表 辺見哲郎 委員

【司会進行】

SAA委員会 保坂正憲 委員

【開会点鐘】 長井 守 会長

【ロータリーソング斉唱】

『それこそロータリー』

【お客様の紹介】 長井 守 会長

【会長挨拶】 長井 守 会長

【お客様ご挨拶】

【幹事報告】 中山賢一 幹事

【委員会報告】

親睦委員会 古屋佳男 委員長

職業奉仕委員会 松浦孝治 委員長

【ニコニコ発表】

親睦委員会 辺見哲郎 委員

【出席率の発表】

出席委員会 渡辺博昭 委員長

会 員 数	122名
出席義務会員	113名
出席免除会員	9名
当日出席者	106名
出席免除会員の当日出席者	6名
出席率	89.08%
10月4日の出席率	84.48% → 96.55%

【卓話】

米山奨学生

ポウデル・ラジブ・ロチャン 様

【閉会点鐘】 長井 守 会長

例会場: パレスホテル立川 (立川市曙町2-40-15)
 例会開催日: 毎週金曜日 開会点鐘 12:30
 会報担当者: 福本 修
 発行者: 長井 守

事務局: 立川市曙町2-34-6 小杉ビル8階
 【TEL】 042-525-4046 【FAX】 042-529-2666
 【HP】 <http://www.tachikawa-rc.org/>
 【E-mail】 ttcr8082@sepia.ocn.ne.jp



例会時には必ずバッジをつけましょう

【お客様ご挨拶】

第2580地区 東京武蔵村山RC 嶋田哲男 会長

10年振りの訪問で、当クラブとして不徳の致す所があり大変申し訳ありませんでした。又60周年おめでとうでございます。こちらの挨拶も遅れてしまい重ね重ねお詫び申し上げます。当クラブはこちらの子クラブですがしばらく疎遠になってしまいましたが、今日を機会に今後お付き合いをさせて頂き、こちらのクラブも60周年RESTARTと伺っています。当クラブとの関係もRESTARTとして宜しく願い致します。今後とも宜しく願い致します。



東京武蔵村山RC 嶋田会長とバナー交換

【幹事報告】 中山賢一 幹事

●ハイライト米山235号が届いています●10/11(金)職業奉仕・社会奉仕委員会の合同炉辺開催●10/14(月)国立オリンピック記念青少年総合センターで開催予定の第16回RYLAセミナー式典は台風19号の影響で中止●本日、第2回クラブ協議会が18:30より開催●10/19(土)立川・サンバーナディノ姉妹市締結60周年記念式典・祝賀会を開催予定●来週の2860回例会は優良職業人・社会奉仕功労者表彰夜間例会です。17:30例会受付、18:00開会点鐘ですのでお間違いの無いようお願い致します。



【委員会報告】

親睦委員会 古屋佳男 委員長

三日月会(琉球編)の案内をさせて頂きます。長井年度がスタートして4ヶ月になりますが、更なる親睦を図る機会として、先輩後輩が車座になってロータリーを語ろう、をテーマに企画致しました。アトラクションは三線アーティストの草薙祈弥様をお迎えします。11月14日(木)18:00~21:00の間であれば、遅刻早退も構いません。お気軽にご参加下さい。場所は杉森会員の店、琉球ぼうず立川北口店。会費は¥6,000となります。



職業奉仕委員会 松浦孝治 委員長

来週に迫りました、優良職業人並びに社会奉仕功労者表彰の例会が10/25(金)18:00から開催されますが、本年は27名の受章者をお迎えしての開催となります。是非多くの会員の皆様のおもてなしたいと思っておりますので、ご参加の程お願い申し上げます。



【ニコニコ発表】 親睦委員会 辺見哲郎 委員

●東京武蔵村山RC 田代和也 様よりお祝い。
●長井 守 会長 ゲストの皆様のご来訪ありがとうございます。ポウデル・ラジブ・ロチャンさん本日は卓話よろしくお祈いします。

- 中山賢一 幹事 米山奨学生、ポウデル・ラジブ・ロチャンさん本日の卓話宜しくお願い致します。東京武蔵村山RC 嶋田哲男会長、佐藤貢 幹事、田代和也会員の来訪を歓迎致します。
- 金原宏和さん 開業記念日に、ソフトバンクホークスがライオンズに勝って日本シリーズ進出を果たし、ホテルで一緒に、王会長ご一行をお出迎えできたことを大変うれしく思っております。
- 端 晶弘さん ラジブさん、本日の卓話宜しくお願い致します。又相田様、付添い有難うございます。武蔵村山RC嶋田会長、佐藤幹事、田代様のご来訪を歓迎致します。
- 田中 太さん 本日はお越し頂いた、東京武蔵村山RC嶋田哲男会長、佐藤貢幹事、田代和也さんの来訪を歓迎致します。
- 渡辺博昭さん 東京武蔵村山RC会長 嶋田哲男会長、佐藤貢幹事、副幹事田代和也様のご来訪を歓迎致します。
- 米山奨学委員会一同 本日はお忙しい所、ラジブさんには卓話して頂き感謝申し上げます。又地区米山資金推進委員会相田副委員長にも重ねて御礼申し上げます。

本日合計 41,000円 本年度累計 1,178,000円

【出席率の発表】

出席委員会 渡辺博昭 委員長

出席について自分なりに考えようと、先日伊藤平八朗パスト会長に40数年前の冊子をお借りし拝読させて頂き、大変参考になりました。先週日曜日のW杯ラグビー日本対スコットランド戦をご覧になりましたか。私はTVで見ましたが、日本が押して勝った試合で、ライブで見ていると感動を覚えます。実際、ニュースで結果だけ聞くと、スポーツの結果は感動が生まれません。同じようにロータリーもライブ感を楽しむべきで出席をして多くの方と会い、卓話を聞いて感動・感銘を受ける、それが出席の意義だと感じました。皆さん、60周年記念事業・式典に向けて、出席率完全100%を目指して頑張りましょう。



【卓話講師紹介】

米山奨学委員会 端 晶弘 副委員長

講師のポウデル・ラジブ・ロチャンさんの紹介をさせて頂きます。ちなみにポウデルが姓、ラジブ・ロチャンが名です。1988年2月生まれで、現在31歳。出身地はネパールです。学歴ですが、ネパールにてカレッジ オブ イノヴェティブテクノロジー高等学校をご卒業後、同じくネパールのプルバンチャル大学 科学技術学部 食品技術学科をご卒業、その後来日し、東京海洋大学 大学院 海洋科学技術研究科 食機能保全科学 専攻され、現在は東京海洋大学 大学院 海洋科学技術研究科 応用生命科学 専攻されております。



卓話「ネパールの文化とお祭り」
ポウデル・ラジブ・ロチャン 様
米山奨学生

皆様こんにちは、「ナマステ」。

ネパール語では日本の「おはようございます、こんにちは、こんばんわ」の挨拶はすべて「ナマステ」を使います。ありがとうございます「ダニバ(Dhanyavad)」と言います。

ネパールはどんなところ？

ネパールには世界で一番高い山エベレストがあり、世界で高い山のベスト8が全てネパールにあります。また、ブツ



タが生まれた聖地ルンビニがあります。国土の面積も人口も日本の1/3位の小さい国で、形は三角形をしています。位置はインドと中国の真ん中にあり海はありません。最初に日本に来た時に海の水には本当に塩が入っているか、実際に飲んでチェックしました。またネパールの川には小さい魚しかいないので、日本の居酒屋で働いていた時に、大きなマグロを見てびっくりしました。

気候

ネパールの高低は高い所が8848m(エベレスト)で、一番低い所は70mです。日本に来た時に「ネパールから来ました」と言うと、皆さんから「じゃあ日本はそんなに寒くないですよ」と良く言われますが、実際は寒いのは山の方だけで、下の方はそれ程に寒くなく、気温は東京とほぼ同じ位です。

民族と衣装

ネパールの国旗には太陽と月が描かれています。この国が太陽と月のように持続して発展するようという願いが込められています。太陽と月は神様の意味があります。しかし同じネパール人でも民族が135種いますので、外見でネパール人と判断する事はできません。民族の言葉も123種あります。ネパールの服装は、国の文化を表現しています。男性は帽子「ダーカトッピ」をかぶっており、女性は「サリー」というスカートのように体に巻き付けて着る民族衣装ですが、民族にはそれぞれの衣装があります。



ネパールカレー

続いてネパールのカレーについてです。皆様はネパールのカレーを食べた事がありますか?皆様が日本で食べているインドカレーは、ネパールで食べているカレーと全く味が違います。ネパールも日本と同じくごはんを食べています。ネパールカレーは日本のカレーのように単純な味ではなく、カレーも色々な種類があり、材料によって味が変わります。初めて日本に来てカレーを食べた時に、今までに食べた事のない味に驚きました。

祭

次にお祭りの話をします。ネパールが一番大きなお祭りは「ダサイン(Dashai)」と言い、9月から10月の約15日間、太陽と月の一番良い時間を見て様々な儀式や行事を行って祝います。聖なる台所に大麦を蒔き、水をやりお祈りをします。外で働いている人々は皆帰って家族が集まります。お祭りの料理は必ず村の皆が作って持ち寄ります。



2番目に大きなお祭りは「ティハール(Tihar)」と言います。カラス、犬、牛、兄弟にお祈りします。カラスは神様からの知らせを伝えてくれるもの、犬は人を裏切らない友達でありガードマン(番犬)でもある事、牛は人が生まれた時は母乳で育ちますが、そのあとは牛乳を飲むようになり、牛に育ててもらおうという事からです。しかしヒンドゥー教では牛の肉は食べません。またお金の神様は明るい所に来ると言われているので、家中の明かりを付けてお祈りをします。姉妹からは兄弟にティカを贈ります。女性の守護力を兄弟に与えるという意味があります。そのお返しに兄弟から姉妹にお礼の品が贈られます。

ティカとは額に付ける印で7色の顔料を使いますが、これは神様と自分を繋げてくれる印です。

カトマンズに近い所のお祭では、皆道に座って一緒にご飯を食べます。「ホーリーフェスティバル(Holy fesutival of colors)」というお祭は、ネパールだけでなくインドなどでも行われています。この日は皆友達に色粉を付けたり、色水をかけたりしますが、これは悪い物を追い払うという意味があります。

「マハー・シヴァラートリー(Maha Shivratri)」はシヴァ神のお祭です。ヒンドゥー教では3人の神様がいて、1人は良い事をする、1人は勉強する、1人は悪い事をすると言われていて、悪い事をする神がシヴァです。悪い事をするというのは、「悪い=切る、殺す」という意味ですが、この神様は悪い事を切ってくれる神という意味なので、お祭ではこの神にお祈りをします。

隔たりのない宗教

ネパールは静かな国で、仏教・ヒンドゥー教・イスラム教などの方も一緒にお祭を楽しみ、喧嘩もありません。インドではイスラム教などの喧嘩や戦争が起こっていますが、ネパールでは各宗教もお寺と一緒に、部屋は分かれています。一緒にお祈りをするので喧嘩にはなりません。「私は仏教です」と特別に公言する方もいますが、仏教はヒンドゥー教の子供であるのでヒンドゥー教と一緒にという考えです。

文化

ネパールの文化では、産まれた時からお葬式まで、色々な式があります。まず産まれて11日目に、お寺の方が来て名前を決めます。太陽と月の位置を見て良い子に育つよう命名します。昔はその人が決めた名前を皆付けていましたが、今は参考にする程度で、両親が好きな名前を考えて決めています。女の子は5ヵ月位まで、男の子は6ヵ月位までにご飯式を行い、その日からミルクだけでなく食べ物を食べるようになります。5歳から10歳までの間に自立する為の式を行います。そして20歳から30歳位で結婚をし、80歳になると長寿のお祝いを行います。お葬式は亡くなった後13日目までに親しい人達で行い、川の近くで火葬し遺骨は川に流します。

観光

続いて、ネパールで自分が好きな場所を紹介します。まずポカラ(Pokhara)です。ヒマラヤの下に湖があり、鏡のようにヒマラヤが映ってとても綺麗です。最近パラグライダーやトレッキングをしに行っています。続いてカトマンズ(Kathmandu)ですが、ここには色々な寺が沢山ありますが、その殆どが2015年の地震で崩壊してしまいました。現在は大分再建されました。ルンビニ(Lumbini)はブッタの生まれた場所です。建物はもう無くなりましたが、跡地があります。この地はインドの近くにありブッタはインドで修業していた為、インドで生まれたとも言われていますが、実際はルンビニで誕生しています。



ネパールでは、象・サイ・トラ・ワニ等野生の動物が山から麓に下りて来ますが、以前家にトラが来て自分の家の犬が食べられた事もあります。トラは道でたまに見かける程度ですが、日本の友人に話すととても驚かれます。チトワンという場所や、エベレスト国立公園では沢山の動物達を見る事ができます。例えばネパールの国鳥であるニジギジ、ヒョウ、レッサーパンダなどがいます。以上、有難うございました。

創立60周年記念登山・名峰「木曾駒ヶ岳」に挑む!!



令和

元年10月6日(日)～7日(月)の日程で東京立川RC創立60周年記念登山が、環境保全委員会(委員長:木村政人)と山歩会(さんぽかい)との共催で名峰・木曾駒ヶ岳(2956m)を舞台に実施された。募集チラシの謳い文句に誘われし強者(つわもの)?(老壮青)20名。10:30にパレスホテル前に集合し、長井会長の配慮による貸切りサロンバスに乗り、定刻11:00に出発する～気分は上々。しかしここで後部座席大竹さんより声がかかる・・・「すいません、登山靴を忘れたので旧市役所前で止めて下さい」(いきなりワンペナルティー発生!)。指定場所で奥様から受取り、たった一人の見送りを受けイザ出発。一行は用意された昼食弁当を各自食し、車中小宴をしながら中央道車窓を眺め、駒ヶ根ICで降り、菅の台駐車場で下車し、マイカー規制により手配の専用バスにてしらび平に向かう。そこから駒ヶ岳ロープウェイに乗り、山麓から山頂に向けて移り変わる紅葉の景色を楽しみながら千畳敷駅で下車し、駅併設の日本で一番空に近いホテル「ホテル千畳敷(標高2612m)」に16:00頃チェックイン。本ホテルは秋の紅葉シーズンは6ヶ月前の予約開始で、すぐに満杯のホテルとして有名ですが、本企画に「男気」を発揮した辺見会員(JTB)が開始前に確保・・・「裏話に一同感謝～ナイスバーディー🍷」。夕食まではフリータイムでこの間、環境保全(委)松島副委員長から「軍手とポリ袋」、木村委員長から「芍薬甘草湯」(こむらがりや足のつりを治す漢方薬)の支給を受ける。18:00からの夕食時には明日の登頂に向けての簡単なミーティングが行われ、その後食事・・・ここまで本日消費エネルギーゼロ?を小宴での酒飲・口撃で一気に吐き出す・・・就寝時間不明・・・夜中ふと目を覚まし窓外を見ると、遠く眼下に「街の灯」、頭上は「満天の星」が輝き、同室の榊瀧さん・田島さんと見て再び就寝・・・



菅の台駐車場で専用バスに乗り換え



1班(アタック隊)

磯部弘志・岡山 昭・菊池寛樹
木村政人・清水淳一・田中 太
長井 守・益子悦雄・松島 孝
三浦 哲・宮崎昭人・横手好一
計12名

2班(ベースキャンプ)

小野 優・大竹茂明・田島瑞也
田中宏明・中山賢一・中山賢二
榊瀧晴夫・町田 弘
計8名



山は天候次第・・・急遽ショートコースに変更・・・攻めるアタック12

7日 昨日の天気予報では「曇りのち雨」が一転雨。朝4:30頃起床の磯部・小野両リーダーは急遽予定変更し、「乗越浄土・宝剣小屋コース」迄として木曾駒ヶ岳山頂アタックは天気次第となる。アタック組は5:30頃には各自雨用の登山服に着替え、ホテル用意の朝食も仕込んで出発準備を整えた。ここで登頂予定の小野さんはベースキャンプのリーダーとして、大竹さんは雨風の登山には弱い為?(清水さんが下山後、曰く「大竹さん、結果的に登山靴は要らなかったじゃない!」、中山幹事は団体の要として残留を決意し、長井会長に登頂を託すなど、各々の理由で断念。アタック隊12名は天候不良の中、彼らに見送られ過酷なミッションに挑んだ・・・一方ホテルでのベースキャンプでは7:00頃から朝食を取り始め、一同は小野さんから予定変更の報告を聞くも1名見当たらず・・・何と筆者不覚にも軽い高山病にかかり部屋でダウン中(もしかして虚弱体質?～ワンペナ)。その後待機組は各自フリーながら、アタック隊の無事到着を待つ・・・さてホテルを出発した磯部リーダー率いるアタック隊12名は、千畳敷カールの平坦ではあるがゴロゴロした石畳の遊歩道を、濡れた足元に気を付けながらなんとか「八丁坂分岐点」迄到着する。ここからは急傾斜で、つまずきや転倒事故、落石等が発生しやすい「八丁坂」を登る・・・呼吸を整えて「行くゾ!」・・・雨に打たれ、風に煽られながら「あわてず・あせらず・あきらめず」一歩一歩と前進・前進また前進・・・中団から「励ましのジョーク」が出るも・・・「シ～ン」無反応・・・足音のみが聞こえ、返る言葉もない。登るのに精一杯でそれどころではない・・・何とか「乗越浄土」まで辿り着いた一行は、証とし



いざ八丁坂へ

て記念写真を撮るもここでも1名が見当たらず・・・聞けば田中太さんが志半ばにし八丁坂途中で単独下山との事(腹部膨満感で体力の限界か?～ワンペナ)。11名となった一行はその後なんとか無事「宝剣山荘」に到着し、体力の回復を待つ。既に外気は零度近くに感じ、風も強まっていた。山荘で磯部リーダーは、他の登山者から山頂周辺の天候・気温等々の情報収集を行う。これからの行程をベースキャンプの小野さんと連絡を取り、苦渋の決断を皆に伝える・・・『下山!』(山での無理は禁物!～よくここまで登った～ナイスバーディー🍷)・・・下山の一行は身支度を整え往路と同じ経路を辿り、予定時刻よりも若干遅れたが無事帰還する。清水さんが往路復路で足を滑らせ軽い捻挫を起こしたが大事には至らなかったと云う(直前会長で緊張感が無かったのかな?～ワンペナ)。また当初から参加者から「エッ登るの?」との心配が予想され、自ら「登山アレルギーで、5日夜は不安で寝不足だった」と言っていた木村委員長は、ミッションをやり遂げ、「見た目で判断されては困る。同じためでも筋肉質で



乗越浄土に到着(撮影/宮崎)

俊敏ですから」と豪語(恐れ入りました～ナイスバーディー🍷)。全員集合して10:00頃ロープウェイで下山し、途中の早太郎温泉・日帰り温泉施設「こまくさの湯」で汗を流し昼食となる。12:30頃施設を出発し、車中での飲み物・乾き物を途中大量調達し、一路立川を目指す。車中では「成果報告会」を兼ねた小宴会・熟睡タイムがあちこちで始まった・・・目が覚めるとそこは「立川だった」。～「山歩会」企画はいつも“参加者レベル”の配慮がなされ、特に高齢者参加の場合の配慮は素晴らしい。このような企画は「親睦」をより深め、「個々への再発見」を知る良い機会でもあります。次回開催の際には貴方も参加してみても如何でしょうか・・・次回をうご期待!♥今回の成績発表、1オーバーでEND。



《追伸》本企画にあたり8月に磯部さん・小野さん・横手さんが下見で木曾駒ヶ岳山頂アタックに成功したことを報告致します。



山頂アタック成功の磯部さん・横手さん /撮影/小野優